

千葉県精神障害者ソフトバレーボール大会 実施要領

1. 競技規則

公益財団法人全国障がい者スポーツ協会「全国障害者スポーツ競技規則」によるもののほか、この要領に定めるところによる。

2. チーム

- ① チーム構成は監督1名、コーチ1名、マネージャー1名及び選手12名以内で構成する。
- ② 監督及びコーチが選手を兼ねる場合は、必ず選手登録をすること。この場合の選手人数は選手を兼ねる監督及びコーチを含め12名以内とする。
- ③ 複数施設からの合同チームの参加も可とする。

3. 競技方法

- ① 試合は、ワンボールシステムで行う。試合球は日本ソフトバレーボール連盟公認球ソフトバレーボール球・糸巻きタイプ（モルテン製 S3V1500-W 円周78±1cm 重量210±10g）を使用する。
- ② ネットの高さは2m24cmとする。
- ③ 選手構成は男女混合とし、試合中は6名のうち少なくとも1名以上の女性選手が出場していなければならない。女性選手が出場不可能になった場合には、その時点でゲーム終了とし不戦敗とする。
- ④ フリーポジション制は無しとする。
- ⑤ 全試合トーナメント方式とし、3位決定戦を実施する。

4. ルール

- ① 1回戦から準決勝までは、3セットマッチとし、2セット先取したチームを勝ちとする。また、1セット15点のラリーポイント制とする。なお、デュースはなしで、15点を先取したチームを勝者とする。
- ② 決勝戦・3位決定戦は3セットマッチとし、2セット先取したチームを勝ちとする。第1、第2セットは25点先取でデュースなし。第3セットは15点を終了とする。ただし、14対14の同点となった場合、先に17点に達したチームを勝者とする。
- ③ 第3セットのコート交代は、いずれかのチームが8点先取したときに行う。
- ④ それぞれのチームには、1セットにつき最大2回のタイムアウト（1回30秒）が認められる。
- ⑤ 試合は、原則スケジュールどおりとする。前の試合が延びた場合は、追い込み方式とする。（前の試合終了後、10分後にプロトコール）

5. 服装

- ① 胸部と背部の中央にナンバーが入っているユニホームを着用すること。
- ② チームキャプテンは、胸のナンバーの下にマーク(横線 8×2cm)を付けること。
- ③ リベロ・プレーヤーはチームの他の競技者と対照的な色のユニフォームを着用しなければならない。

6. 監督・コーチ・マネージャー

- ① 監督・コーチ・マネージャーはそれぞれ左胸にワッペンを付けなければならない。
- ② 監督制限ラインを設けない。

7. 組み合わせ

前大会の優勝・準優勝・3位は、シード枠で出場とする。残り 5 枠は、代表者会議にて参加を希望するチームによる抽選の上で決定とする。

8. 招集

- ① 各チームは、試合開始時刻の 15 分前に所定の場所で待機すること。
- ② ステータリング・ライン・アップ・シートは、各セットが始まる前に記入し、副審に提出すること。

9. 開会式・閉会式・監督会議

- ① 開会式は、第 1 試合開始前に行う。
- ② 表彰式は、競技終了後に閉会式を兼ねて競技会場で行う。
- ③ 監督会議は、大会当日に行う。また、監督会議において申し合わせ事項を設けることができる。なお、時間及び場所は別途連絡する。

10. その他

- ① アリーナ内へは、選手、監督、コーチ、マネージャー、大会役員及び主催者が許可した者以外は入場することはできない。
- ② 各練習球は、各チームで用意すること。
- ③ ゴミは必ず持ち帰ること。

平成 29 年 5 月改訂